

令和6年度 決算の状況

貸借対照表

資産の部	当年度末(単位:円)
流動資産	554,422,901
現金預金	454,997,747
事業未収金	98,631,591
未収金	30,000
立替金	306,543
1年以内償却予定長期前払費用	457,020
固定資産	848,980,108
基本財産	685,463,321
土地	268,962,506
建物	416,500,815
その他の固定資産	163,516,787
建物	4,785,185
構築物	3,407,870
車輦運搬具	527,089
器具及び備品	9,628,524
有形リース資産	436,860
権利	686,856
無形リース資産	5,044,820
施設整備等積立資産	101,195,933
修繕積立資産	37,154,000
差入保証金	150,000
長期前払費用	457,020
その他の固定資産	42,630
資産の部合計	1,403,403,009

事業活動計算書

サービス活動増減の部	当年度末(単位:円)
収 益	
介護保険事業収益	670,277,313
経営経費寄附金収益	609,200
サービス活動収益計(1)	670,886,513
費 用	
人件費	421,417,961
事業費	103,931,624
事務費	95,852,047
減価償却費	31,163,197
国庫補助金等特別積立金取崩額	△7,288,111
サービス活動費用計(2)	645,076,718
サービス活動増減差額(3=1-2)	25,809,795

サービス活動外増減の部	当年度末(単位:円)
収 益	
受取利息配当金収益	110,763
その他のサービス活動外収益	4,886,946
サービス活動外収益計(4)	4,997,709
費 用	
支払利息	0
その他のサービス活動外費用	518,925
サービス活動外費用計(5)	518,925
サービス活動外増減差額(6=4-5)	4,478,784
経常増減差額(7=3+6)	30,288,579

負債の部	当年度末(単位:円)
流動負債	60,603,537
事業未払金	14,944,045
1年以内返済予定設備資金借入金	0
1年以内返済予定リース債務	1,840,272
未払費用	27,109,692
預り金	238,032
職員預り金	1,075,496
賞与引当金	15,396,000
固定負債	3,728,780
リース債務	3,728,780
負債の部合計	64,332,317

純資産の部	当年度末(単位:円)
基本金	271,446,504
国庫補助金等特別積立金	105,974,773
その他の積立金	138,349,933
施設整備等積立金	101,195,933
修繕積立金	37,154,000
次期繰越活動増減差額	823,299,482
(うち当期活動増減差額)	(29,448,744)
純資産の部合計	1,339,070,692
負債及び純資産の部合計	1,403,403,009

特別増減の部	当年度末(単位:円)
収 益	
固定資産売却益	39,999
特別収益計(8)	39,999
費 用	
固定資産売却損・処分損	60,838
国庫補助金等特別積立金取崩額(除却等)	△4
国庫補助金等特別積立金積立額	819,000
特別費用計(9)	879,834
特別増減差額(10=8-9)	△839,835
当期活動増減差額(11=7+10)	29,448,744

繰越活動増減差額の部	当年度末(単位:円)
前期繰越活動増減差額(12)	818,850,738
当期末繰越活動増減差額(13=11+12)	848,299,482
基本金取崩額(14)	0
その他の積立金取崩額(15)	0
その他の積立金積立額(16)	25,000,000
次期繰越活動増減差額(17=13+14+15-16)	823,299,482

*その他の計算書類・定款については
ホームページに掲載しておりますのでご確認ください。

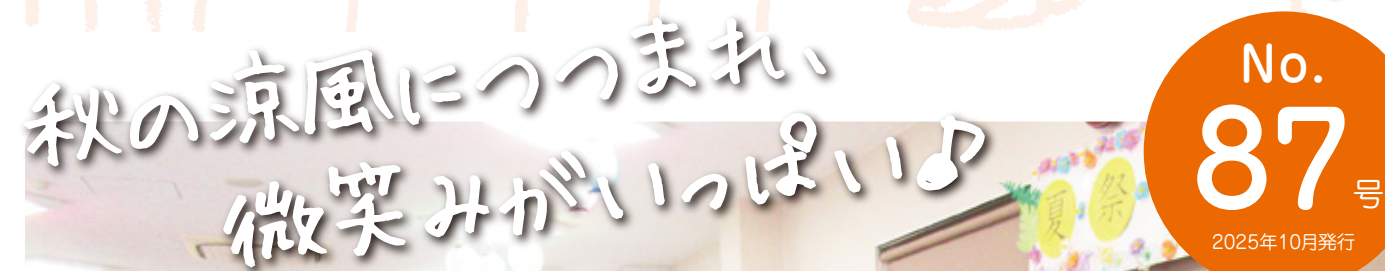
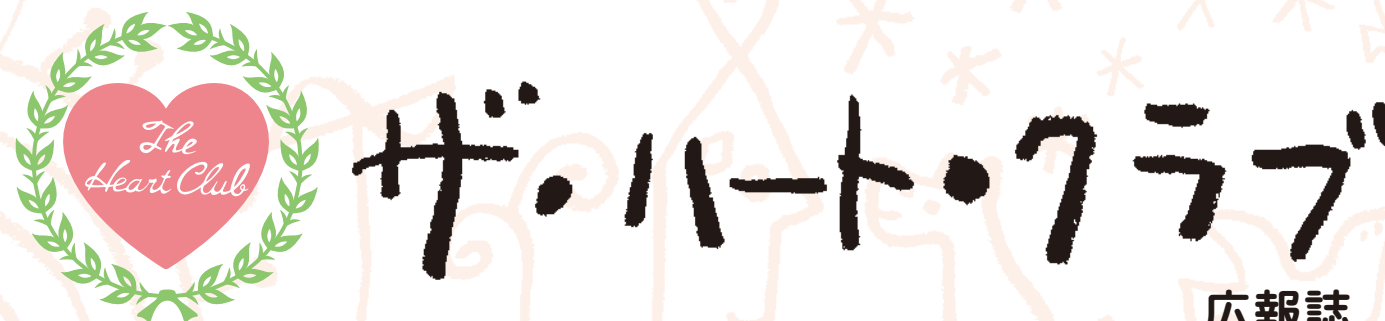
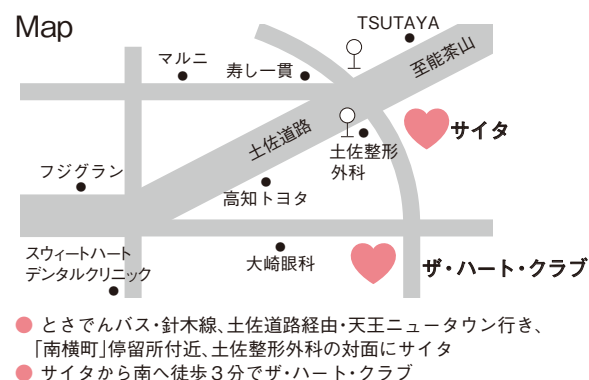
令和7年3月31日現在
法人名:社会福祉法人 ザ・ハート・クラブ 事業名:事業全体

(自)令和6年4月1日(至)令和7年3月31日
法人名:社会福祉法人 ザ・ハート・クラブ 事業名:事業全体



〒780-8061 高知市朝倉甲64番地1
TEL : 088-840-7100(代) / FAX : 088-840-7480(代)
<https://www.thc.or.jp/>

- 事業所一覧
- ・特別養護老人ホーム スウィート・ハート・ホーム
 - ・小規模多機能型居宅介護事業所 サイタ
 - ・デイサービスセンター サムフォット
 - ・デイサービスセンター サイタ
 - ・居宅介護支援事業所 ボム
 - ・ショートステイセンター サイタ



記事ご紹介

- ・各事業所の行事等の報告
- ・夏祭り特集
- ・研修報告
- ・お知らせ ・寄附のお礼
- ・医務室より
- ・「インフルエンザにご注意ください」
- ・明神管理栄養士より「フレイル予防」
- ・うちスタ ・決算報告



スウィート・ハート・ホーム

かき氷と綿菓子で屋台気分☆

夏のおやつレクを開催し、かき氷と綿菓子を楽しみました。
今年はピンク色の綿菓子にも挑戦!夏といえばこれですね♪



敬老会☆

子どもたちの元気、届きました!

くすのき保育園(分園)のちびっこたちが、
かわいい踊りを披露してくれました!
会場は笑顔いっぱい、元気をもらいました。
長寿のお祝いには、メダルと記念品をプレ
ゼント! ありがとうの気持ちを込めて、みんな
で楽しい時間を過ごしました。



サムラフォット

クルクルケーキ作り!!

ホットケーキミックスを使って、簡単
なケーキ作りをご利用者で行いま
した。ケーキには、好みのトッピング!
皆さんで美味しく頂きました。



ご長寿おめでとうございます!

職員による銭太鼓や島田のブンブンの踊り、ボランティア
の方の演奏でお祝いしました。
写真入りメダルと表彰状を贈呈して、最後にみんな笑顔
で記念撮影♪



小規模サイタ

カツオの藁焼き

目の前で豪快に藁焼き! カツオの香りにみんな釘付け! 「おかわり!」の声が止みませんでした。次回もお楽しみに♪



あっという間に完食しちゃった...



わぁー、おいしそう!



音と舞で祝う敬老の日

敬老会では、日本舞踊と三味線の披露、ギターとの異色コラボ演奏が行われました。昼食にはお祝い膳が振る舞われ、温かく和やかなひとときを皆さまと共に過ごしました。

祝敬老会



とっても上手やね

本当やねー

デイ・ショートステイサイタ

こいのぼり運動会

こいのぼり流しリレーに玉入れと赤組も白組も力が入ります!! 職員も負けてません! ただのパン食い競争と見せかけて... どちらが早くハンカチを干し終わるか?! 本気の対決です!!



がんばるぞー! あー!!



急げ! 急げ!

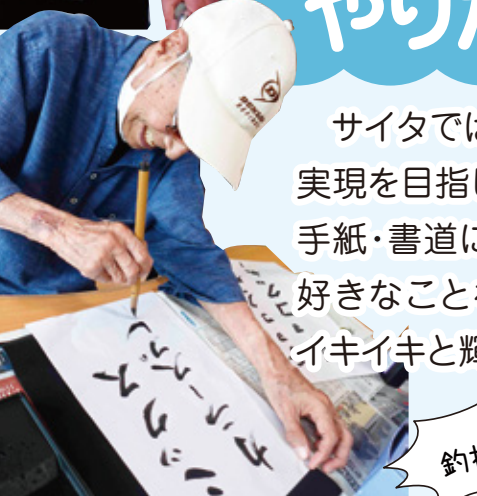


やりたいこと叶え隊

サイタでは、それぞれの「やってみたい!」の実現を目指しています! 生け花や土いじり・絵手紙・書道に...釣り!!好きなことをしている時はみなさん表情がイキイキと輝いていますね♪



大きくなーれ!



釣れたー!



ザ・ハート・クラブ

夏祭り特集 2025

はい、ポーズ!

よっちよれ
よっちよれー!!

スウィート・ハート・ホーム

踊り子さん
きれいねえ!

冷たくて
おいしい♪

小規模・デイショートステイサイタ

サムフォット

たこ焼き
最高!!

ステーキ!

わっしょい
わっしょい!!

お碗出せ〜♪
茶碗出せ〜♪

かんぱー!

夏祭り
楽しい!

■ 接遇マナー研修 全体研修

5月14日(水)と20日(火)の2日間にわたり、快護ラボ知技心の山中氏を講師にお迎えし、接遇マナー研修を実施しました。

研修は、昨年度の内容を振り返りながら、介護現場における接遇の基本と心構えについて改めて学ぶことから始まりました。私たち介護職員は、ご利用者が安心して快適に過ごせるよう、言葉遣いや態度、ケアの内容に常に工夫を凝らすことが求められています。

高齢者の心理には、喪失体験や自尊感情の低下、不安感などが見られることがあり、丁寧で思いやりのある対応が必要です。ご利用者に関心を持ち、わかりやすい言葉で誠意をもって接すること、そして聞き上手になることで信頼関係の構築につなげていきたいと思ひます。



■ ハラスメント相談窓口担当者研修



6月24日(火)、社会保険労務士の溝淵氏を講師にお迎えし、各事業所の相談窓口担当者がハラスメント対応に関する研修を受講しました。

研修では、ハラスメントの基本的な種類や、相談対応の流れ、対応時の心構え、組織としての体制整備について学びました。

相談対応は、①相談窓口、②事実確認、③決定権者による判断の3つの役割に分け、担当者を分散させることが望ましいとされています。相談時は判断を急がず、否定も肯定もせず、主観を交えず丁寧に話を聞くことが大切です。迅速な対応が信頼につながると感じました。

事実確認では、相談者の希望を尊重し、プライバシーを守ることが重要です。先入観を避けるには、第三者が確認を行うことが推奨されています。ハラスメントの有無は、決定権者が事実確認の資料のみをもとに判断します。認定された場合は処分を検討し、該当しない場合は双方への説明と関係改善を図ります。

ハラスメントは、相談窓口が直属の上司だと声を上げにくくなるため、別部署の職員も配置するなど、組織全体で対応できる体制の整備が重要です。今後は、こうした相談しやすい体制を職員に示し、誰もが安心して働ける職場づくりに努めてまいります。

■ 事故防止委員会 全体研修

8月27日(水)、株式会社スターアライズの森下氏を講師としてお招きし、「転倒予防・対策」に関する研修を実施しました。

研修では、高齢者に多く見られる大腿骨頸部骨折や脊椎圧迫骨折について、基礎知識と予防の重要性を学ぶ機会となりました。これらの骨折は、一度起こると再発の可能性が高く、特に高齢者では生活の質に大きく影響するため、予防が非常に重要です。

転倒の原因には、加齢や病気、薬の影響などによる体の状態、床や段差などの周囲の環境、そして急いでいるときや注意がそれているといったその場の状況が挙げられます。事故を完全に防ぐことは難しいため、転倒を防ぐには、あらかじめ危険を予測して備える「リスク管理」と、万が一の事故に冷静に対応して被害を最小限に抑える「危機管理」の両方が欠かせません。特に体調や服薬などの情報は、職員間で共有することで転倒予防に繋がります。ご利用者の下肢筋力の維持や栄養管理、骨密度の把握も効果的です。また、チームで事故を未然に防ぐ意識を持つことが重要であり、ヒヤリハットの活用や情報共有の徹底、多職種による連携も欠かせません。

今回の研修を通じて、転倒予防への理解を深め、利用者の安全を守るための意識向上に繋がりました。今後も、安心して過ごせる環境づくりに努めてまいります。



城山高校で出前授業を行いました

(本山 将也・前田 宏美・片岡 靖貴・横山 翔吾)

9月17日(水)、福祉セミナーとして城山高校を訪問し、福祉コースを選択している3年生3名と一緒に授業を行いました。テーマは「移動の支援」。講義と実技を交え、福祉の学びを体験していただきました。授業のはじめに問いかけたのは「人はなぜ移動するのだろうか?」ということ。移動には必ず「目的」があり、その思いを理解し尊重することこそ介護福祉士の大切な役割であることを伝えました。

実技では、ベッド上での移動やギャッチアップの際に起こるズレについて、マルチグローブを使った除圧の方法を紹介し、生徒にも実際に体験してもらいました。初めて触れる感覚に驚きつつ、「思ったより重い」「工夫すると楽になる」などの声があがり、学びを楽しんでいる姿が印象的でした。知識だけでなく自分の手で体感したことが心に残ったのではないかと思います。

短い時間ではありましたが、生徒や先生、そして私たち講師にとっても心に残る温かいひとときとなりました。今回のような出前授業は高校生という若い世代に直接語りかけ、福祉の魅力を体感してもらう、未来の人材育成につながる大切な活動です。

これからも教育機関とのつながりを大切に、福祉の仕事のやりがいや温かさを若い世代に伝えていきたいと思ひます。出前授業は学ぶ側と伝える側と一緒に作る「学びの時間」。今回の経験を糧に、今後も地域の福祉を担う人材育成に力を尽くしてまいります。

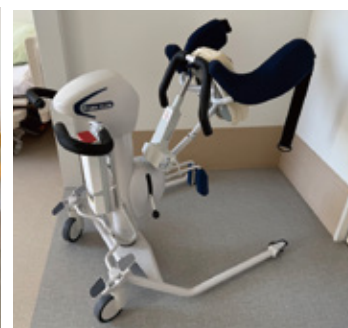


排せつサポートリフト導入しました

このたび当法人では、「排せつサポートリフト」を2台導入いたしました。これまで職員2名による介助が必要だったご利用者も、導入されたリフトの活用により、職員1名で安全かつスムーズにトイレ誘導が可能となりました。座位姿勢のまま移乗が可能で、車椅子やベッドから吊り具を敷き込むことなく移動できる設計となっており、身体的負担を軽減しながらさらに、移乗動作が安定したことで下衣の上げ下げもスムーズに行えるようになり、職員の負担軽減とご利用者の安心感の両立が実現しました。

実際に使用した職員からは、「操作が簡単で安全に誘導できる。腰への負担も少なく、安心して介助できる」との声が寄せられており、介護の質の向上にも大きく貢献しています。

今後は、トイレ誘導に限らず、ベッドやシャワーチェアへの移乗など、さまざまな場面で活用していく予定です。ご利用者がより快適に過ごせるよう、引き続き環境整備に努めてまいります。



寄附のお礼

- 齋藤 ゆり香様…………… 車椅子
- 宮中 芳美様…………… 車椅子
- 匿名希望様…………… 車椅子・テレビ1台

大切に使用させていただきます。
ありがとうございました。



インフルエンザにご注意ください



2025年の流行状況

今年は例年よりも流行の立ち上がりが早く、9月の時点で学級閉鎖が発生する地域もあります。東京都ではすでに警報レベルを超過しており、九州では宮崎県・長崎県・大分県などでも感染率が高く報告されています。流行株はA型(H1N1・H3N2)とB型(山形系統・ビクトリア系統)が中心で、横浜市のデータでは患者の約半数(48.7%)が15歳未満です。地域においても十分な注意が必要です。

予防と早期の対応が重要です。体調に不安を感じた場合は無理せず医療機関を受診し、感染拡大防止に努めましょう。

スウィート・ハート・ホーム
看護師 中山 雅代



症状

インフルエンザは、38℃以上の高熱、寒気、関節痛や全身のだるさを特徴とする感染症です。喉の痛みや咳など、風邪に似た症状も現れます。

重症化のサイン(受診が必要)

- 咳がひどく呼吸が苦しい
- 呼びかけに反応しない
- けいれんを起こす
- 水分や食事がとれないほどの咳



予防

- 流行前のワクチン接種
- 手洗い・アルコール消毒
- マスクの着用・人混みを避ける
- 室内の換気・湿度管理(50～60%)
- 十分な休養と栄養で体調を整える

治療・自宅での過ごし方

- 基本は安静にして自然回復
- 抗インフルエンザ薬は発症から48時間以内の使用が効果的(発熱期間の短縮・感染力低下)
- 水分補給をこまめに行う
- 消化のよい食事を心がける

出勤停止の目安

- 発症から5～7日程度は安静
- 解熱後1～2日を目安に体調が安定してから出勤
- 発症から3日間は特に感染力が強いため、外出は控える



うちのスタッフ うちスタ

バリ島の伝統舞踊を披露

～技能実習生による華やかなステージ～

今年のホーム夏祭りでは、技能実習生3名がバリ島の伝統舞踊を披露し、会場を華やかに彩ってくれました。踊りの中心となったインダーさんは、子どものころからバリ舞踊を習っており、小学生の頃には学校の休みに先生のもとで本格的に学んでいたそうです。今回は、インダーさんがシエルリーさんとニアさんに踊りを教え、3人で息の合った美しい舞を披露しました。衣装はバリ島から送ってもらった本物で、髪飾りやメイクも現地の伝統に沿った華やかなもの。ステージに立つ3人の姿はまるでバリ島の祭礼のようで、ご利用者の皆さんからは「本場の雰囲気伝わってきた」「とても感動した」といった声が多く寄せられました。

1曲目「スカルジャガットダンス」は“世界の花”を意味し、来訪者を歓迎するための舞踊です。繊細な指使いや目・首・腰を使ったしなやかな動きでした。2曲目「チリナヤダンス」は稲の女神を象徴し、豊穡と繁栄を祈る祝福の舞で、千手観音のようなフォーメーションと柔らかく可愛い動きが印象的です。

実習生たちが心を込めて準備してくれた踊りに、会場は拍手と笑顔で包まれました。異文化の魅力と、3人の頑張りが見られる素敵なひとときとなりました。



インダーさん・ニアさん・シエルリーさん



男性育児休暇の体験談

～この時期を逃すと、二度と見られない瞬間がある～

私は出産前から育児休暇を1カ月取得しました。小学1年生の娘と3歳の息子がいる我が家では、保育園の送迎、小学校への送り出し、家事全般を担当しながら過ごしました。一日の中で自分の時間は、ほんの1時間あるかないか。それでも、子どもたちとボール遊びや自転車で遊ぶ時間は、かけがえのないものでした。

妻が買い物に出かける際には赤ちゃんを見守り、小さな体で精いっぱい泣く姿や、手を握ってくれる仕草に心が癒されました。とても可愛らしく、愛おしい瞬間でした。

これから育児休暇の取得を考えている方へ。男性が育児休暇を取ることに、ためらいを感じる方も多いかもしれませんが、赤ちゃんの成長は、ゆっくりのようであるが、本当にあつという間です。日々の小さな変化に気づき、夫婦でその成長を喜び合えるのは、この時期だけです。

育児休暇を通じて、育児の大変さを実感することができました。その経験があるからこそ、仕事復帰後の家庭への関わり方も自然と変わってくると思います。正直なところ、1カ月では足りなかったと感じています。

妻も「赤ちゃんの世話だけでなく、家事や上の子の送迎まで担ってくれて、心身ともに助かった」と話してくれました。夫婦で育児の喜びを共有できたこの1カ月は、家族にとってかけがえのない時間だったと感じています。

だからこそ、私は育児休暇の取得を積極的におすすめしたいです。今しか見られない、今しか感じられない瞬間が、そこにはあります。

デイサービスセンターサムフォット 生活相談員 西村裕太



明神管理栄養士の おすすめメニュー

フレイル予防

“フレイル”という言葉をご存じですか？フレイルは日本老年医学会によって提唱され、加齢により心身の働きなどが弱くなることを意味し、健常と要介護の間に位置付けられます。厚生労働省は身体活動や社会参加とともに、バランスの良い食事の取り方を提案しています。

厚生労働省があげるフレイル予防の食事のポイントは3つあります。

(パンフレット「食べて元気にフレイル予防」)

① 3食しっかりとしましょう。(朝食・昼食・夕食)

② 1日2回以上、主食・主菜・副菜を組み合わせる食べましょう。

(主食:ごはん、パン、麺類 主菜:肉、魚、卵、大豆など 副菜:野菜、きのこ類、いも、海藻など)

③ いろいろな食品を食べましょう。

(それぞれの食品に含まれる栄養素は1種類ではありません。多様な食品を組み合わせることで必要な栄養素をまんべんなく摂取することができます。)



- 魚や肉の缶詰
- 卵
- 豆腐、厚揚げ、油揚げ、納豆、豆乳、豆類、みそ
- 牛乳、ヨーグルト、チーズ
- ハム、ベーコン、魚肉ソーセージ、しらす干し、練り製品
- かつお節、高野豆腐、ごま、きな粉



味噌汁に卵1個をプラスするとたんぱく質は6～7gアップ



野菜サラダにシーチキン1缶とハム1枚をプラスするとたんぱく質は14～15gアップ



コーヒーに牛乳100ccをプラスするとたんぱく質は3.3gアップ

